

## 鷹栖町まちづくりセミナー

### ふるさとを元気にする方法～住むまちは住む人が決める～

#### ■講演

演題：「まちの未来は自分の未来 地域を楽しくするコミュニティデザイン」

講師：studio-L 代表 山崎 亮 氏

#### ■グループディスカッション

本日の講演を参考に、あなたがこれから鷹栖町で実現したいと感じることはどんなことがあるでしょうか？

思いを実現するために、「私ができること」「私たち（仲間・友人と）ができること」「地域が（みんなで）できること」にはどんなことがあるでしょうか？

- ・この講演だけで終わるのではなく、講師（山崎亮さん）のような考えで、これからもまちづくりに携わりたい。
- ・鷹栖の自然を生かして、講師が話していたような森のようちえんの取り組みを進める。
- ・若い人が集まって何かをやる取り組みを続けていけば、まちづくりに有効である。
- ・鷹栖町の基幹産業である農業にもっと力を入れるべき。若い世代にどう引き継いでいくか、今日の講演の「農業」と「農」の考え方をそれぞれ取り入れて考えていきたい。
- ・社会貢献で活躍している高齢者がいるが、女性ばかり。男性の高齢者が生き生きと活躍できる場の創出（男の料理教室を広げて地域で居酒屋イベントなどを開催してはどうか）
- ・男性は会社など人間関係が狭い中でコミュニケーションを築いており、高齢者になってから地域で新たなコミュニティを形成することは困難だと考える。遅くても 50 代頃から地域に出て繋がるようにしなければならないのではないか。
- ・どの業界も人材不足だと思う。リタイヤ後も働き続け、人材不足とのマッチングが出来れば良いのではないか。また、働くことが生きがいにも繋がり、健康寿命を延ばすことにもなるのではないか。
- ・人工知能が発達し、世の中がどんどん変革するのは分かるが、A I に頼らない人間らしい「みんなが笑ってられるまち」を目指して、公民館活動でもサポートできると良いと考えている。
- ・住民センターを拠点に、生活支援サービス事業（移送サービスなど）を展開したい。
- ・集まった人が次から次へと新しいことができる環境が必要。その中からまた新たな人の繋がりが生まれる。
- ・空き家をシェアして気軽に集まれるような場をつくる。
- ・団地カフェや地域食堂を開いて交流を生むための取り組みができると良い。
- ・単に学力向上ばかりではなく、勉強が楽しいと思えるような教育環境づくりを、まち全体で取り組んでいく。